

国際関係学部・3つのポリシー（2015年度～）

学位授与方針(ディプロマポリシー)

国際関係学部は、所定の単位を修得し、以下のような能力を備えていると認められる学生に卒業を認定し、学士（国際関係または国際文化）の学位を授与します。

- 1) アジア地域を中心とした国際関係に関する学識を修めている。
- 2) 国際的な広い視野に立脚した異文化理解と言語能力を身につけている。
- 3) 国際関係について主体的に課題に取り組み、自らの視点で分析し、判断できる。
- 4) グローバル社会の一員としての使命感と責任感を持ち、適切な行動をとる能力がある。

教育課程の編成・実施方針(カリキュラムポリシー)

アジアを中心とした国際関係・国際文化に関する学際的専門教育と言語教育を実施し、広い視野に立った異文化理解の感覚と言語能力を有する人材を育成するため、以下のような特色をもった教育課程を編成・実施します。

- 1) 1年次のチュートリアル、3年次の専門演習、4年次の卒業論文演習を必修とし、問題意識をもって研究する姿勢と、報告・討論の技術を修得させ、卒業論文をまとめさせる。
- 2) 1年次から必修の総合英語に加え、アジア地域言語及び英語のうち一言語を選択必修とし、外国語によるコミュニケーション能力を修得させる。また、TOEIC・実用英語検定及び中国語検定試験・「ハングル」能力検定試験による単位認定制度を設けている。
- 3) 政治・経済・社会・歴史・芸術・文化の各分野を広く学際的に学ばせるとともに、アジア地域についての深い知識を修得させる。
- 4) 現地研修、長期・短期の海外留学制度を設け、奨学金や単位の認定などにより、国際交流を奨励する。

学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

国際関係学部は、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づき、異文化理解の感覚とアジアの地域言語及び英語の運用能力を持ち、グローバル社会の一員として国際協力や国際交流に貢献できる人を育てるために、下記のような人物を求めます。

- 1) グローバル社会や多文化社会を学際的に学ぶのに十分な基礎学力を有する人
- 2) 異なる価値観や多様な社会に対する共感力と理解力を持っている人
- 3) 国際社会で起きている諸問題に対する洞察力と批判力を養いたい人

- 4) アジアの地域言語と英語の運用能力を身につけたい人
- 5) グローバル社会の一員として国際協力や国際交流に貢献する意欲を持っている人

以上